

2017年(H29年)事業計画案

定款の定める事業名

- 1 医療従事者、政策決定者や一般市民に対して、情報提供や研修を通じて結核に関する啓発を推進する事業
- 2 結核対策活動を促進するために、会員や諸団体間での会議、事業等による交流を促進する事業
- 3 政府省庁間、NGO、職能団体や民間企業間の協力下で、日本の国内及び国際結核対策への参加の協力や調整をする事業
- 4 国際的な結核対策活動への日本の貢献を高める適切な政策や優先事項を提言する事業
- 5 上記の国際的貢献を推進するための国内の拠点の強化や人材育成を推進する事業
- 6 その他、前各号に附帯する事業

定款	事業名	内容	事業計画案		
			2017	2016	
1	啓発	結核の世界目標達成に向けての普及広報活動 日本を低蔓延国にするための普及啓発活動(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレスリリース(厚労省記者会)の実施</li> <li>・ 啓発グッズ(ストップ結核バッジ、シール、クリアファイル)の作成</li> <li>・ ホームページによるコミュニケーション</li> <li>・ 国内関連学会、会合、イベント等における普及啓発活動・開催支援</li> <li>・ 低蔓延化にむけた啓発活動(国内・海外リスク地域・グループへの結核対策支援 など)</li> <li>・ STBJの活動内容の投稿</li> </ul>	3,000,000	3,000,000
2	交流	各国版STBへの支援 パートナーとの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体会員とのワーキングショップ、シンポジウムを開催</li> <li>・ APRCへの協力</li> <li>・ 個人会員との結びつきの強化</li> <li>・ WHO, STBPとの連携</li> <li>・ Global TB Caucusへの協力</li> <li>・ 患者さん証言活動の支援</li> </ul>	7,000,000	8,000,000
3	協力・調整	国内外結核対策への協力・調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 途上国における日本の結核対策プロジェクトの案件形成促進支援</li> </ul>	1,000,000	1,000,000
4	提言	結核対策提言活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学会、会合での提言</li> <li>・ ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟との連携による、国・自治体への結核対策推進に関する働きかけ(低蔓延、国内外結核対策予算、など)</li> <li>・ SDGs、UHCの下での結核対策推進にかかる提言</li> <li>・ 革新的技術の早期実現化に向けた提言(※)</li> <li>・ 日本の医薬品、技術開発の知見を活かすための官民連携推進への提言(※)</li> <li>・ 2018年結核にかかる国連ハイレベル会合に向けた提言</li> </ul>	1,000,000	1,000,000
5	拠点強化・人材育成	国際貢献のための 拠点強化・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 途上国の結核対策プロジェクトに従事する日本人医療協力要員の養成支援</li> <li>・ 結核予防会の有する結核専門家ネットワークを強化の推進(※)</li> <li>・ 国際保健人材養成戦略の中での結核対策に係る人材の支援</li> </ul>	1,000,000	1,000,000
6	その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人としての基盤整理</li> <li>・ 募金活動</li> <li>・ STBJ事業を支援する団体会員、個人会員の獲得と適正な情報管理</li> <li>・ 結核文化遺産保護に向けた活動</li> </ul>	100,000	1,000,000
	管理費			3,000,000	3,000,000
<b>合計</b>				<b>16,100,000</b>	<b>18,000,000</b>

特別会計 (H21年度より「耐性結核新薬開発基金」のための特別会計を設置)

3 日本の民間企業が開発中の抗結核薬の早期実用化に向けた環境づくりの支援 (耐性結核新薬開発基金)

16,925,474  
(正味財産 H27.12.31現在)

アクションプランでのSTBJの役割 (※)

- 第4章 世界目標を達成するための日本の貢献
- 2 結核予防会の有する結核専門家ネットワークを強化する。STBJはその推進役となる
  - 4 革新的技術の早期実現化に向けた環境整備に努める。
  - 6 GHITファアメントが早期に具体的な成果を上げるよう、必要な支援と協力を行う。
  - 7 結核の世界目標達成に向けて、政府と協力して積極的な普及広報活動を展開する。
- 第5章 世界に貢献する日本としての国内対策
- 第8章 本アクションプランの推進
- 3 本アクションプランの目標達成に向け、進捗状況をフォローする。

## 平成29年(2017年)収支予算書(MDR基金を除く)

(平成29年1月1日～12月31日まで)

ストップ結核パートナーシップ日本

## 科目

## I 収入の部

1 寄付金収入	13,000,000
2 雑収入	5,000

収入合計	13,005,000
------	------------

## II 支出の部

## 1 事業費

人件費	2,600,000
会議費	7,300,000
旅費交通	1,000,000
印刷費	1,000,000
通信・運搬	200,000
地代・家賃	30,000
リース	50,000
雑費 その他	920,000
	<hr/>
	13,100,000

## 2 管理費

人件費	1,000,000
印刷	100,000
通信・運搬	300,000
地代・家賃	200,000
リース	300,000
雑費 その他	1,100,000
	<hr/>
	3,000,000

支出合計	16,100,000
------	------------

収支差額	-3,095,000
------	------------

前期繰越	(H28からH29への繰り越し)	11,114,526
------	------------------	------------

次期繰越	(H30への繰り越し)	8,019,526
------	-------------	-----------

## 平成29年(2017年)収支予算書(MDR基金)

(平成29年1月1日～12月31日まで)

ストップ結核パートナーシップ日本

## 科目

## I 収入の部

1 寄付金収入 0

収入合計 0

## II 支出の部

## 1 事業費

人件費

会議費

旅費交通

印刷費

通信・運搬

地代・家賃

リース

雑費 その他

0

## 2 管理費

人件費

40,000

印刷

通信・運搬

地代・家賃

リース

雑費 その他

40,000

支出合計 40,000

前期繰越 (H28からH29への繰り越し) 16,885,474

次期繰越 (H30への繰り越し) 16,845,474